



若竹通信

第68号



平成29年10月31日発行
徳島県立新野高等学校

『刻み込め この湧き上がる熱き思い！～歴史に残せ新高祭～』

9月30日、三日間にわたる熱き新高祭（新高祭；文化祭、体育祭）が盛大にはじまりました。

3学年全ての生徒が揃う新高祭は、今年度が最後となり大変寂しい思いもしましたが、こういう時こそ「One for all, all for one. (一人はみんなのために、みんなは一人のために!）」を合い言葉に、みんなが協力して準備から本番まで力を尽くしました。

■新高祭 第1部（前夜祭）は、プロの音響スタッフを招き、最高のステージで出演者に演じてもらいました。前半は、生徒による演奏から始まり、手話コーラス・歌・バンド演奏・ダンスなど7チームの熱演があり、会場である体育館は拍手の渦で大盛況でした。後半は、教員による歌やダンスなどのパフォーマンスが演じられ、会場はさらにヒートアップ！全校生徒、全職員の心に楽しい思い出として刻み込まれました。

■新高祭 第2部（一般公開；模擬店・展示・イベント等）は、天候にも恵まれ数百名の来場者があり大盛況！！模擬店の販売物やPTAの焼きそばは、開始後2時間以内に軒並み「Sold out!」でした。来場者は買い物だけでなく、作品の展示物や本館前のロータリーに飾られたプランターの花たちにもシャッターを切っている姿があちらこちらで見受けられ、生徒も来場者も満面の笑みでした。

■体育祭 10月2日に予定していた体育祭は「なごり大雨」となり、6日に体育館で開催することになりました。本校の体育館は天井が高く開放感に加え、競技者・運営者・応援者に一体感が芽生え、大変盛り上がり、今回初めて取り入れた“フォークダンス”の最後の“ジェンカ”は、まさに「新高一枚岩」を彷彿させる盛り上がりを見せた大変素晴らしい体育祭となりました。

今回の新高祭を体感したみなさんは、決して一人ではないことを実感したと思います。みなさんを、11,908名の先輩方が温かく見守っていることを認識して、これからの生活を自信を持って邁進してほしいと願ってやみません。

平成29年度

新高祭

刻み込め この湧き上がる熱き思い！～歴史に残せ新高祭～

前日祭 9月30日(土)

「刻み込め この湧き上がる熱き思い！～歴史に残せ新高祭～」のテーマのもと、新高祭が開幕しました。前日祭では、音楽部による演奏や手話コーラス、歌やダンスなどが披露されました。先生方による歌や踊りも加わり、温かい雰囲気の中、大いに盛り上がりました。



文化祭 10月1日(日)

文化祭では、各クラスや部活動、PTAなど11の模擬店と、書道部・美術部などの生徒作品展や保健展など5つの展示、お化け屋敷や生徒会主催の子ども広場など、3つのイベントが行われました。300人を超える多くの方々が来場くださり、生徒たちは協力して調理や販売に取り組みました。



体育祭 10月6日(金)

体育祭は、雨天延期の後、種目に工夫を加えて、体育館で行いました。クラス単位で3つのチームに分かれ、優勝を競い合いました。まり入れや長縄跳び、14人15脚などクラス対抗種目ではどのクラスも一丸となって頑張りました。初の試みであったフォークダンスでも全校生徒が一体となって盛り上がり、心に残る体育祭となりました。31HR・23HR・12HRのチームAが優勝し、3日間の新高祭は幕を閉じました。



求人状況

本年度の求人状況は、昨年に引き続き、県内外ともに多い求人をいただきました。生徒の皆さんにとっては、希望する企業が増え、挑戦するチャンスが広がりました。企業訪問では次のような要望が聞かれました。

①明るく元気に挨拶ができる生徒 ②学校のルールをきちんと守る生徒 ③部活動をしている生徒 ④言われたことを素直に聞き、すぐ行動できる生徒

学校行事、資格取得、実力テスト、定期考査そして授業など、何事にも一生懸命に取り組むことのできる生徒を企業は求めています。

	県内	県外
求人数	123人	588人
求人社数	106社	586社

(平成29年9月29日現在)